

重点目標一覧表

担当部局名	政策企画部
-------	-------

【令和2年度重点目標】

【令和3年度重点目標】

重点目標	二次上田市総合計画と上田市版総合戦略の着実な実現	重点目標	二次上田市総合計画（第2期上田市版総合戦略）の着実な実現とSDGsの推進	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）		具体的な重点取組項目（箇条書き）	
	達成状況・達成度		期限・数値目標等	
1	<p>①「上田再構築プラン」の推進</p> <p>② 二次上田市総合計画 後期まちづくり計画の策定に向けた取組</p> <p>③ 上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進による地方創生の取組</p> <p>④ 第2次定住自立圏共生ビジョンの施策管理</p>	<p>① 後期まちづくり計画及び実施計画への関連施策位置付け</p> <p>② 後期まちづくり計画の策定 ・市民意見公募 14件（4人） ・上田市を考える会（真田地域、武石地域）（上田地域、丸子地域は感染拡大により中止） ・市民への周知（広報特集、行政チャンネル、YouTube視聴回数：1,800回） ・最終答申に向けた庁内策定会議、策定委員会の開催 ・11月5日、最終答申 ・12月14日、12月市議会定例会において議決</p> <p>③ 後期まちづくり計画への一体化</p> <p>④ 第2次定住自立圏共生ビジョンの進捗状況の確認及び見直し実施（統計データ等の修正）</p>	<p>①「上田再構築プラン」の推進</p> <p>② 二次上田市総合計画 後期まちづくり計画（第2期上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略）の推進</p> <p>③ SDGs達成に向けた取組</p> <p>④ 第2次定住自立圏共生ビジョンの施策管理及び第3次定住自立圏共生ビジョンの策定に向けた取組</p>	<p>①・優先課題の具体化・実現に向けた庁内関係課との調整（通年）</p> <p>②・重点プロジェクトの推進体制整備（通年） ・第1期総合戦略等の検証（5～7月） ・地方創生関係事業の実施と計画（通年） ・計画的な土地利用のための調整（通年）</p> <p>③・SDGs理念の共有・浸透（通年） ・実施計画への評価指標の導入（6～10月） ・気候非常事態宣言等を受けた取組の調整（通年）</p> <p>④・第2次ビジョン推進と進捗管理（通年） ・第3次ビジョンの策定（3月）</p>
2	<p>重点目標 長野大学の改革促進と学園都市づくりの推進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>①公立大学法人長野大学の改革促進</p> <p>②学園都市構想の策定と推進</p> <p>③「信州上田学」事業の充実と展開</p>	<p>達成状況・達成度</p> <p>①・学部学科再編や水産研究所取得等に係る協議調整 ・評価委員会（5回開催）での業務実績評価の実施 ・修学支援事業補助金は143名70,881千円を交付</p> <p>②・構想策定に向けた調査・検討 ・まちなかキャンパスでの市民講座数10講座</p> <p>③・出前講座（神科小140人、染谷高280人）、冠付与事業41件 ・長野大学での信州上田学講座実施（計90人受講） ・上田未来会議を11回開催、延べ参加者数432人</p>	<p>重点目標 長野大学の改革促進と学園都市づくりの推進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>①公立大学法人長野大学の改革促進</p> <p>②学園都市構想の策定と推進</p> <p>③「信州上田学」事業の充実と展開</p>	<p>期限・数値目標等</p> <p>①・学部学科等再編に向けた協議（通年） ・効率的な業務実績評価の実施（5～12月） ・交付金や補助金の適切な対応（通年）</p> <p>②・（仮称）学園都市構想の策定（年度内） ・まちなかキャンパス市民向け講座（20講座）</p> <p>③・ライフステージ毎の郷土学習支援（通年） ・長野大学での信州上田学事業推進（通年） ・上田未来会議の企画運営（計8回程度）</p>
3	<p>重点目標 サントミュージゼを拠点とした文化創造都市実現に向けての「育成・市民協働・鑑賞」事業の推進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>①サントミュージゼの運営に係る恒常的な検証の実施 (1)恒常的な検証組織を立ち上げ（仮称：交流文化芸術センター運営協議会）、事業内容や施設運営について協議し、より市民に身近な事業展開・施設運営を検討する。 (2)美術館協議会を開催し、5年間の実績をもとに今後の事業展開を検討する。</p> <p>②文化創造都市としての「創造育成」事業の推進 (1)市内全小学校25校、9地域でのワークショップ、コンサートの開催 (2)子どもアトリエ事業及びおとなのアトリエ講座等のワークショップ開催</p> <p>③市民とともに歩む施設を目指した「市民協働」事業の推進 (1)市民参加型事業の充実（高校生演劇事業、ダンス事業等） (2)市民団体と協働した企画展覧会の準備と実施</p> <p>④魅力ある「鑑賞」事業の推進 (1)市民から要望の多い各種公演、展覧会を提供 (2)身近に親しめる公演、展覧会を提供 (3)地元メディアや興行企画との共催や、連携した幅広い魅力ある公演、展覧会の提供。</p> <p>⑤広報宣伝活動の推進 (1)公演等のラインナップや施設の紹介など積極的なPR活動 (2)専用ホームページの充実 (3)要望を把握するためのアンケート調査を随時実施</p> <p>⑥事業経費の確保 (1)国、県等の助成金の活用 (2)企業等との連携強化、寄附の受け入れの推進</p>	<p>達成状況・達成度</p> <p>①(1)運営協議会を4回開催。「第2期運営管理計画」を策定。 (2)美術館協議会を4回開催。今後の事業展開に関する運営方針を策定。</p> <p>②(1)市内小学校22校でクラスコンサートを実施。5地域の公民館でワンコインコンサートを実施。 (2)体験プログラム88回、市民向け講座20回（合計108回）実施。</p> <p>③(1)商店街との協働事業として市民参加公演を施（計2回）。高校生演劇事業を実施（計2回）。 (2)延期となった第8回山本鼎版画大賞展の再募集開始。</p> <p>④(1)～(3)音楽事業11公演、演劇公演は大ホールで1公演、小ホールで2公演、ダンスは大スタジオで1公演開催。美術館では展覧会を計7回開催。</p> <p>⑤(1)各種媒体により公演等を周知 (2)バックヤード、ギャラリートーク等の動画を配信。専用ホームページのレイアウトを改善。 (3)自主事業で来場者にアンケートを実施。</p> <p>⑥(1)各種補助金助成金の採択により自主財源を確保。 (2)サントミュージゼパートナーズ2社新規加入。</p>	<p>重点目標 日本遺産、文化芸術やスポーツを生かした魅力ある都市づくりの推進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>①日本遺産を活用した観光振興、地域の活性化 ・シビックプライドの醸成、稼げる観光振興及び地域の活性化に向けた人材育成・普及啓発・観光誘客・調査研究等</p> <p>②東京2020オリ・パラ事前キャンプ相手国と、受入れマニュアル合意締結と受入れ ・官民協働のもと、菅平高原におけるチームの事前合宿誘致</p> <p>③イタリアレガシーの創出 ・イタリア文化交流の促進 ・自治体連携組織における幹事自治体（全国10自治体）として参画</p> <p>④ホストタウン事業による中国との文化的交流の推進 ・中国文化やオリンピック選手等を紹介するイベントの開催</p> <p>⑤市民や文化団体との連携・協働による文化事業の推進と人材育成の充実 ・文化団体連携事業の開催 ・小中学校への芸術家派遣事業 ・子ども文化講座、子ども文化祭の開催 ・NAGANO国際音楽祭補助事業（文化財群・観光施設等への芸術家派遣支援）</p>	<p>期限・数値目標等</p> <p>①・人材育成、普及啓発事業（随時） ・情報発信・環境整備事業（随時） ・調査研究事業（随時）</p> <p>②・事前キャンプの合意締結と内定（4月～8月） ・各種競技関係の事前合宿内定（年度内）</p> <p>③ ・交流イベント開催（室内コンサート等） ・連携組織の事業構築（通年）</p> <p>④ ・県連携事業及び市独自イベント開催（通年）</p> <p>⑤・上田城跡能（8月） ・うえだ城下町映画祭（11月） ・シリーズ文化講演会（3月） ・芸術家学校派遣事業（3校） ・子ども文化講座（10月） ・子ども文化祭（2月） ・アウトリーチコンサート等開催支援（8月）</p>

重点目標一覧表

【令和2年度重点目標】

【令和3年度重点目標】

重点目標	文化芸術やスポーツを生かした魅力ある都市づくりの推進		重点目標	サントミューゼを拠点とした文化創造都市実現に向けての「育成・市民協働・鑑賞」事業の推進	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
4	<p>①東京2020オリ・パラに向けた海外チームのトレーニングキャンプ誘致 ・官民協働のもと、菅平高原における海外チームの事前合宿誘致</p> <p>②ラグビーレガシーの創出 ・自治体連携組織における幹事自治体（全国10自治体）として参画 ・イタリア文化交流の促進</p> <p>③ホストタウン事業による中国との文化的交流の推進 ・中国文化やオリンピック選手等を紹介するイベントの開催</p> <p>④市民や文化団体との連携・協働による文化事業の推進と人材育成の充実 ・文化団体連携事業の開催</p> <p>・小中学校への芸術家派遣事業 ・子ども文化講座、子ども文化祭の開催</p> <p>・NAGANO国際音楽祭補助事業（高齢者施設等への芸術家派遣支援） ・信州上田第九コンサート事業</p>	<p>①・オリ・パラ延期により合宿中止</p> <p>②・自治体関係者のWEB会議に参加 ・イタリア交流事業は中止</p> <p>③・中国交流イベント開催（2/6 62人）</p> <p>④・上田城跡能（8月：中止） ・うえだ城下町映画祭（11月：WEB配信） ・シリーズ文化講演会（3月：760人） ・芸術家学校派遣事業（小学校4校：169人） ・子ども文化講座・子ども文化祭（コロナ感染防止で中止） ・NAGANO国際音楽祭開催（11月：100名） ・信州上田第九コンサート中止</p>	<p>①文化創造都市としての「創造育成」事業の推進 （1）市内全小学校25校、9地域でのワークショップ、コンサートの開催 （2）子どもアトリエ事業、おとなのアトリエ講座等のワークショップ開催</p> <p>②市民とともに歩む施設を目指した「市民協働」事業の推進 （1）市民参加型事業の充実（高校生演劇事業、ダンス事業等） （2）市民団体と協働した企画展覧会の準備と実施</p> <p>③魅力ある「鑑賞」事業の推進 （1）質が高く魅力ある公演、展覧会の提供 （2）市民から要望の多い各種公演、展覧会を提供。 （3）身近に親しめる公演、展覧会を提供 （4）地元メディアや興行企画との共催や、連携した幅広い魅力ある公演、展覧会の提供。</p> <p>④事業経費の確保 （1）国、県等の助成金の活用 （2）企業等との連携強化、寄附の受け入れの推進</p>	<p>① （1）市内全小学校25校、9地域で実施 （2）ワークショップを50回実施</p> <p>② （1）演劇制作3事業、ワークショップ16回程度実施 （2）第8回山本鼎版画大賞展の開催</p> <p>③ （1）～（4） ・自主事業公演29回実施 ・展覧会8回実施</p> <p>④ （1）各種補助金、助成金の採択及び地元メディアとの共催事業誘致 （2）企業等との関係構築及び自主財源の確保</p>	
5	<p>重点目標 選ばれる都市を目指した情報発信とシティプロモーションの戦略的な展開</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>① シティプロモーション推進指針に基づく戦略的・総合的な情報発信の推進 ・庁内連携会議の開催による情報共有と事業連携の推進</p> <p>・専用webサイト、ラジオ等を活用した情報発信</p> <p>・市民リポーター等、市民力を活用したインナープロモーションの推進</p> <p>・首都圏のテレビ等を活用した情報発信、東日本連携による情報発信</p> <p>② 市民と行政が結ばれる、つながる広報の推進 ・広報うえだの充実 ・上田市メールの充実 ・SNS等を活用した情報発信の促進 ・災害時におけるより有効な情報発信の構築（情報発信体制の見直し、地図情報の掲載、Twitterの活用など）</p> <p>③ 国勢調査の円滑な実施 ・インターネット回答の利用促進</p> <p>④ オープンデータ化への取組 ・新たなオープンデータの追加及び既存のデータ更新</p>	<p>① ・庁内プロジェクトチーム会議を2回開催し情報共有を図った。 ・専用webサイトの定期的な更新とラジオを毎週放送。 ・市民リポーター記事を専用webサイトで配信。 ・首都圏向けテレビ番組放送8回、映画館CMを9館で実施。</p> <p>② ・特集記事、コロナ記事の充実を図った。 ・日本語の他9か国語での配信を可能とした。 ・Twitter、メール配信を連携した情報発信の充実 ・メール配信（通行規制情報）に地図情報を掲載</p> <p>③・インターネット回答率 40%台 ※速報値は令和3年6月ごろ発表予定</p> <p>④・新たに「公共施設一覧」を公開</p>	<p>重点目標 ポストコロナを見据えたシティプロモーションと市民とつながる広報の推進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>① ポストコロナ・アフターコロナを見据えた総合的・効果的な情報発信の推進 ・庁内連携会議の開催による情報共有と事業連携の推進 ・専用webサイト、ラジオ等を活用した情報発信 ・市民リポーター等、市民力を活用したインナープロモーションの推進 ・首都圏のテレビ等を活用した情報発信、東日本連携による情報発信</p> <p>② 市民と行政が結ばれる、つながる広報の推進 ・広報うえだの充実 ・上田市メールの充実 ・SNS等を活用した情報発信の促進 ・災害時における効果的な情報発信の構築</p> <p>③ オープンデータ化への取組 ・新たなオープンデータの追加及び既存のデータ更新</p>	<p>① ・庁内連携会議の開催（3回） ・WEBと連携したラジオ放送の実施（毎週） ・市民リポーターの取材記事配信（週1回程度） ・首都圏向けテレビ番組制作・放送12回</p> <p>② ・記事内容の充実と、読みやすさの工夫 ・メール登録者の増加（25,900件→28,000件） ・Twitter配信（1,800件→1,900件） ・「総合防災情報システム」との連携構築</p> <p>③・新規に「観光施設一覧」を追加（令和3年度：6分野）</p>	